



冬休みの過ごし方

あと少しで冬休み。今年は新型コロナウイルスの影響があるものの、あれこれと楽しく過ごすことを、児童なりに想像している時期でしょうか。さて、冬休みは、児童が家庭や地域社会の中で自立心や社会性を身につける絶好の機会であり、地域の伝統や文化に接する貴重な体験や学習の場でもあります。一方、この時期は生活リズムの乱れやネットトラブル等の危険に巻き込まれることも予想されます。冬休みの過ごし方については御家庭でも話し合い、児童が安全で楽しく過ごせる冬休みになりますよう、御協力をお願いします。学校においても各学年で指導を行い、終業式でも児童全員で確認を行います。保護者向けに「冬休みの過ごし方」というおたよりも用意しましたので、是非御一読ください。

ふれあい児童会集会

児童会で計画を立てた「ふれあい児童会集会」が25日（水）に行われました。内容は、体育館で学年ごとこれまでの学習の成果を発表しました。1年生は「じどう車ずかんのほっぴょう」、2年生は「お手紙の音読げき」、3年生は「音のひ・み・つ☆」、4年生は「青梅街道新聞」、5・6年生は「ヤモリと冒険！丹波山冒険マップ」です。どの学年も日頃から授業の中で準備してきた学習を、ちょっぴり緊張しながらも精一杯発表する姿が印象的でした。子どもたちの成長した姿をみるよい機会になりました。



令和2年度 児童会役員選挙

12月16日（水）、児童会役員選挙が行われました。児童会長には現5年生の石川冬馬さん、副会長には現4年生の船木結愛さんが立候補しました。推薦責任者は、冬馬さんが6年生の佐上智則さん、結愛さんが4年生の小川暖翔さんでした。選挙については11月の中頃から取り組みが始まりました。選挙管理委員は、3年生の佐上綾香さん、守屋絆起さんが務めてくれました。しっかりとした計画・準備をし、立派な運営により、無事「立ち会い演説会」「投開票」が終了しました。結果、どちらの候補も見事当選し、令和3年度の新しい児童会長と副会長が信任されました。「自然とふれ合い、よりよい・楽しい学校をつくる」という確認のもと、全校のなかまど気負わずゆっくりと児童会活動に取り組み、すばらしい丹波小学校の伝統を引き継いでほしいと願っています。今後とも丹波小学校児童会の取り組みに期待と御協力をお願いいたします。





お話の会



11月30日（月）に「お話の会」が行われました。当日は、司書の渡邊先生、甲州市立勝沼図書館より青柳さんにきていただき、図書委員会のメンバーによる「読み聞かせ」や「アニメーション」がありました。丹波小学校の子どもたちは本が大好きな子どもが多いので、みんな目を輝かせてお話を聴いていました。



防災訓練



12月1日（火）に本年度3回目の防災訓練を行いました。

1回目は土砂災害，2回目は地震，今回の3回目は，火災を想定して行いました。新型コロナの影響で消防署の方においでいただくことが出来ませんでした，お借りしてきた「水消火器」を使って，全校児童と教職員が一人ずつ消火訓練を行いました。

災害はいつ起こるか分かりません。学校ではいろいろ形を想定して行動できるように，子どもたちの指導をしていきたいと思ひます。御家庭でも，万が一の災害が起こったときの約束事や行動の確認などをしておくのも，大切なことだと思ひます。



新しいALTの先生です

11日にアンダーソン先生とお別れをして，15日からは新しくヴィルジョーン先生がALTとなりました。名前は「Viljoen Rhuan」で，呼称が「ヴィルジョーン」ということ。先生は1995年4月24日，ニュージーランド出身の25歳。初めて日本に来て，まだまだ，日本語も片言ですが，若くてやる気のある先生です。背がとても高く196cmで，バスケットが得意です。

本格的には3学期に入り5・6年生の外国語科，3・4年生の外国語活動，1・2年生のイングリッシュタイムで，ヴィルジョーン先生に英語を教えてください。よろしくお願ひします。



